

授業科目(ナンバリング)	社会保障論 A (DA304)			担当教員	脇野 幸太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会保障は、私たちの日常生活を困難に陥れるようなできごと（病気、ケガ、老齢、失業、労災、子ども、ひとり親、多子…）に伴って生じる生活課題に対し、その解決や緩和を図るためのさまざまな制度・施策の集まりである。社会保障論 A では、日本の社会保障に関する内容のうち、総論部分（社会保障とは何か、社会保障のしくみ・財源、社会保障の歴史等）および介護保険、障害者総合支援法について扱い、これらについての基礎的理解を得ること、およびその制度理解をソーシャルワークの実践に活用できる能力を身につけることを目標とする。</p>							①②③④
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障とは何か、介護保険制度、障害者自立支援法について説明できる。</li> <li>・ どのような場合にどの社会保障の制度から、どのような給付が受けられるか説明できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (50%)</li> <li>・ 小テスト (10%)</li> </ul>	60%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解したことを、ソーシャルワークの実践に活用できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (25%)</li> <li>・ 出席カードのコメント (5%)</li> </ul>	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の生活と社会保障のかかわりについて認識できる。</li> <li>・ 社会福祉専門職として、社会保障制度理解の必要性について認識できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (5%)</li> <li>・ 出席カードのコメント (5%)</li> </ul>	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験（穴埋め式と筆記式を併用）のほか、8 回目と 10 回目に 15 分程度の小テストを実施する（小テストは、その場で採点を行い、復習を兼ねた解説を行う）。また、毎回、出席カードのコメント欄に当日の授業内容についてのコメントを求める。コメントについては、次回の授業で回答等のフィードバックを行う。これらを総合的に勘案し、上記到達目標についての評価を行う。評価基準は上記のとおりである。</p>							
授業の概要							
<p>授業は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。</p> <p>社会保障論は社会福祉士・精神保健福祉士資格受験科目の一つであるが、例年、受験者の中にはこの科目に苦手意識を感じる者が多いようである。その原因としては、範囲が広いことに加え、各制度のしくみが複雑で難解であることが考えられる。授業ではこのような点に配慮し、具体的な例を用いながらできるだけわかりやすく説明を行うとともに、資格取得のための学習についても随時アドバイスを行いたい。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：古橋エツ子編『新・初めての社会保障（第 2 版）』法律文化社・2019</p> <p>参考書：社会福祉士養成講座編集委員会編『新社会福祉士養成講座 第 12 巻 社会保障 第 6 版』中央法規・2019</p> <p>指定図書：教科書と同じ。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 年後期の社会保障論 A は、3 年前期の社会保障論 B とセットになっているので、<b>A と B は両方を必ず履修すること。</b></li> <li>・ 授業外学修として、予習では、教科書の次回扱う部分を読んでおくこと、復習では、その日扱った内容をレジュメと教科書を突き合わせて確認し、その内容を説明できるようにしておくこと。復習に活用できるよう、配布したレジュメのデータは、授業後にポートフォリオにアップする。</li> <li>・ 授業では、わからないことはそのままにせず、授業前後、オフィスアワーなどに遠慮なく質問してほしい。</li> </ul>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	授業の進め方、この授業で扱う範囲・予定などについて説明する。	予習：社会保障について知っていることをまとめる。
2	社会保障の基本的な考え方①	社会保障の概念と範囲、体系について把握する。	予習：教科書第3章 復習：社会保障の体系を説明できるよう復習。
3	社会保障の基本的な考え方②	社会保障の理念、憲法との関係、役割と意義、目的と機能などについて把握する。	予習：教科書第1章 復習：社会保障の役割、意義、目的、機能について説明できるよう復習。
4	日本の社会保障のしくみの基礎的理解	社会保障の財源、社会保障の方法としての社会保険と社会扶助、公的保険制度と民間保険制度との異同などについて理解する。	予習：教科書第10章 復習：自分が加入している社会保険制度について調べる。
5	現代社会における社会保障制度	人口動態の変化、少子高齢化の進展などについて把握し、社会保障の今後のあるべき姿について考える。	予習：教科書第11章 復習：「持続可能な社会保障制度」について復習。
6	日本の社会保障制度の発達	戦後の緊急援護と社会保障の基盤整備から、社会保障構造改革に至るまでの、日本の社会保障制度の発達過程について把握する。	予習：教科書第2章 復習：日本の社会保障の発達過程について復習。
7	世界の社会保障制度の発達	社会保障が、歴史的にどのような過程を経て成立、発展してきたのかについて、世界各国の社会保障の歴史を概観しながら把握する。	予習；教科書第2章 復習：社会保障の歴史的成立過程について復習。
8	社会保険のしくみ	現在の社会保障の中心である社会保険のしくみについて理解する。	復習：社会保険の基本的なしくみについて説明できるよう復習。
9	介護保険制度①	介護保険制度が創設された背景及び目的、その後の介護保険制度の動向などについて把握する。	予習：教科書第7章 復習：介護保険が創設された目的について復習。
10	介護保険制度②	介護保険の保険者と被保険者、保険給付と利用者負担、受給権者など、制度の基礎的部分について理解する。	予習：教科書第7章 復習：介護保険の概略について復習。
11	介護保険制度③	介護サービス等の種類・内容、介護サービス利用までの流れについて理解する。	予習：教科書第7章 復習：介護保険利用手続きの流れについて復習。
12	介護保険制度④	介護サービス情報の公表、介護予防の概念について把握する。また、国、都道府県、市町村、指定サービス事業所、国保連など、介護保険制度における組織、団体の役割について把握する。 介護保険制度における専門職の役割について把握する。	予習：教科書第7章 復習：介護保険における専門職の役割について復習。
13	介護保険に関する諸制度	高齢者福祉関連のその他の法制度、特に老人福祉法と介護保険法の関係について理解する。	予習：教科書第10章 復習老人福祉法と介護保険法の関係について復習。
14	障害者福祉と障害者保健福祉制度①	障害者総合支援法が創設された背景及び目的について把握する。障害者自立支援制度における組織、団体の役割について把握する。	復習：障害者自立支援法が制定された背景について説明できるようにしておく。
15	障害者福祉と障害者保健福祉制度②	障害者総合支援制度のしくみについて理解する。	予習：教科書第9章 復習：障害者総合支援制度の概要について復習。
16	定期試験		